事　業　報　告

自　　令和４年　４月　１日
至　　令和５年　３月 31 日

当舗装研究委員会は、現在５つの小委員会を構成し、それぞれのテーマに基づき、精力的な活動を行い数々の実績をあげ、その成果はそれぞれの分野において反映されております。

以下、令和４年度、１年間の事業活動について報告いたします。

Ⅰ．委　員　数

119 名（令和４年度当初）

Ⅱ．会　　議

１．第 42 回通常総会（Web 開催）

日　　時　　令和４年６月 17 日（金）

議　　事

第１号議案　令和３年度　事業報告について

第２号議案　令和３年度　収支決算報告及び監査報告について

第３号議案　令和４年度　事業計画(案)及び収支予算(案)について

報　　告

(1) 委員の変更

(2) 役員の変更

２．　講演会及び活動報告会(Web 開催)

(1)各小委員会　活動報告

講　演　講　習　小委員会	委員長	長　屋　弘　司
技術史料収集　小委員会	委員長	佐々木　博　志
軽交通舗装　小委員会	副委員長	若　林　裕　也
舗装マネジメントシステム　小委員会（ＰＭＳ）	副委員長	星　　卓　見
コンクリート舗装　小委員会	副委員長	角　尾　　崇
技　術　基　準　小委員会	委員長	丸　山　記美雄

(2)講　　演

「舗装診断力の向上に資する研究」

㈱ＮＩＰＰＯ北海道支店　北海道試験所

所　長　　中　村　　博　康

「凍上に対するコンクリート舗装の設計法に関する研究」

（国研）土木研究所　寒地土木研究所　寒地道路保全チーム

研究員　　上　野　　千　草

３．　交　流　会

・新型コロナウイルス感染症の影響により中止

Ⅲ．幹　事　会

(1)　第１回　令和４年５月 23 日(月)　Zoom によるオンライン形式

議　題

1）議案書の確認について

2）活動報告について

3）講演会について

Ⅳ．小委員会活動

(1) 技術基準小委員会

（委員長　丸山記美雄　　副委員長　小倉正三、斎藤昌之）

(1)第一回委員会

日　時：令和５年２月９日(水)10:00～12:00

場　所：Web(Zoom)

出席者：22 名　天野隆明、石窪良浩、石渡裕子、上野千草、内海正徳、遠藤康男、大越真樹、大谷健、小倉正三、上島壮、久保裕一、斎藤昌之、佐藤修、嶋崎大、菅原健太、中村博康、藤田恒紀、牧田哲也、松本大輔、松本第祐、丸山記美雄、横濱圭一　(50 音順、敬称略)

議事項目：

(1) 史料収集小委員会からの引継と統合について

・引継資料の説明を行い、史料収集 WG を設け活動することとなった。

(2) 技術基準関連話題提供

・「舗装の技術基準の改訂」「アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧の発刊」「舗装再生便覧の改訂」について、話題提供があった。

(3) 今後の活動について

・「技術基準の最近の動向に関する情報交換」を今後の活動の基本とすることとなった。

(2) 講演講習小委員会

（委員長　長屋弘司　　副委員長　後藤明雄、鴨　智彦）

(1)国際会議 PDRG Meeting JRPUG2022 の共催

主　催：特定非営利活動法人舗装診断研究会

共　催：北海道土木技術会舗装研究委員会，路面性状自動測定研究会

日　時：令和 4 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）8:30～17:00

場　所：北海道科学大学

基調講演：①Yichang Tsai 教授（ジョージア工科大学）

”Next-Generation Pavement Condition Diagnosis and Maintenance Optimization using 3D Laser and AI Technologies: Opportunities andChallenges”

②藪雅行上席研究員（土木研究所道路技術研究グループ舗装チーム）

“日本の技術検査基準に基づく効率的な舗装管理に向けて”

テクニカルセッション１　：表面特性と人と車の相互作用（3 件）

テクニカルセッション２　：舗装診断のための AI と 3D 技術（3 件）

パネルディスカッション１：舗装工学分野における 3D 技術と AI 技術の進歩

パネルディスカッション２：舗装の建設と管理のための 3D データの潜在的アプリケーション

ProVAL ワークショップ：ジョージ・K・チャン博士（The TranstecGroup,Inc.）

(2) 土木の日パネル展 2022 への出展

日　時：令和 4 年 11 月 17 日(木)・18 日（金）　10:00～19:00

場　所：札幌駅前地下歩行空間　北大通交差点広場（東）

共　催：土木学会北海道支部　イブニングシアター（映像展示）

展示物：①縦型共通パネル（920×1600）　1 枚

②土木遺産パネル（札幌・千歳間弾丸道路）（B1 縦）　2 枚

③舗装事業による社会貢献（B1 縦）　2 枚

観覧者：11 月 17 日　514 名　11 月 18 日　454 名　計　968 名（昨年　836 名）

(3) 軽交通舗装小委員会

（委員長　橋本　研一　　副委員長　佐藤　厳、若林裕也）

・新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止

(4) 舗装マネジメントシステム小委員会

（委員長　川村　彰　　副委員長　星　卓見、広瀬史生）

(1) 第一回委員会（コアメンバー会議）

日　時：令和５年３月１４日(水)14:00～16:00

場　所：北海道舗装事業協会　会議室

出席者：４名　川村、富山、星、広瀬

議事項目：(1)過年度までの活動内容の確認

(2)今後の活動の方向性の確認

(3)講習会（Ｒ５年度予定）の内容（案）について

(4)PMS 小委員会委員長の交代について

・コアメンバーにより、今後の活動方針、講習会の開催内容等について意見交換した。

・Ｒ5 年度以降の PMS 小委員会の委員長を富山先生（北見工業大学）に引き継ぐことで、富山先生の同意を得た。

(5) コンクリート舗装小委員会

（委員長　川端伸一郎　　副委員長　小林暁、角尾　崇）

(1) 断熱工法採用のコンクリート舗装施工見学会

日　時：令和 4 年 9 月 7 日(水)10:00～12:00

工事名：一般国道 227 号北斗市市渡舗装補修外一連工事

出席者：31 名

内　容：凍上抑制層に高性能断熱材を使用する事で舗装厚さを低減。